



おおば まさあき
大場正昭
議員



台風2号の豪雨被害の復旧状況は

問 昨年被災した箇所の災害復旧工事の遅れと不備が被害を拡大したと指摘されているが被災の状況と復旧方法はどうか。

答 昨年9月の台風15号による、敷地川に隣接する市道見取山田線等の応急復旧については、一般的な工法である大型土のうでの仮設護岸により施設の保全を図ってきた。今回の豪雨を受け、大型土のうの一部が流失したことを確認したこと、仮設護岸の復旧に着手した。本格的な復旧は、見取山田線は金網の中に砕石を詰め、「ふとんかご」による復旧を進めており、来月末には完成予定である。中沢川については、幕ヶ谷橋から上流約400メートル区間、流下能力を高める改良復旧を行うこととし、10月以降の渇水期の工事着工に向け、現在準備を進めている。



市道大谷幕ヶ谷線三川加圧ポンプ場西側法面崩落の様子

流域治水の進め方はどうか

問 山林の荒廃や農地の減少が河床の土砂堆積量にどのように影響しているか。

答 降雨時には土砂堆積量に影響がある。堆積土の対応として、定期的な点検や地元からの要請の浚渫のほか、昨年の台風15号では現場調査を実施し、中沢川など7河川を緊急的な浚渫を行った。

車中泊避難を見据えた対応を

問 車中避難や車中泊避難を含む、分散避難に対する基本的な考えは。

答 コロナ禍においては、多様な分散避難を周知してきた。大規模災害時においては、指定避難所における避難に加え、自宅避難や車中泊避難など、様々な形の避難生活が生ずるものとして想っている。

問 災害応援協定を一段と推進していくべきであると考えますが、車中泊避難等に供する用地や施設の確保は十分か。

答 多くの方が指定避難所駐車場に加え、指定避難所以外での車中泊避難も想定される。今後においても、自主防災隊と車中泊避難者や在宅避難者などの連携周知や一時避難場所を提供いただける民間事業との協定締結に取り組んでいきたい。



あんま けんじ
安間 亨
議員



日越外交関係樹立50周年

問 袋井商工会議所は記念事業として日越相互訪問を計画しているが、市として支援する考えはあるか。

答 民間主体の相互訪問への直接的な支援は考えていない。訪問計画の内容が具現化した段階において交流促進に向けた支援、また、相互訪問の後の展開として産業交流の後押しをしていく。



常林寺を訪問するU-17サッカーベトナム代表(令和5年6月)

一般質問とは

個々の議員が市政全般にわたり市長・教育長に対して行う質問で、各定例会で行います。各議員の質問時間は一人30分以内となります。

質問方式

議員は一括質問一括答弁または一問一答のいずれかを選択して質問します。

- ① 一括質問一括答弁
議員がまとめて3回まで質問を行い、市長・教育長もまとめて答弁を行います。
- ② 一問一答
議員の質問と市長・教育長の答弁を一問ずつ交互に行います。

通告内容

ホームページにて、これまでの一般質問の日程及び通告内容を公開しています。



ホームページにて一般質問の録画映像を公開しています。QRコードを読み取ってご覧ください。※パケット通信料がかかります。